



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

“Reach Within to Embrace Humanity”

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

RI会長
カルヤン・パネルジー
2570地区ガバナー
立原 雅夫

Smart Rotaryを探して ~継続できるロータリークラブとは~ + ガンバレ! 日本のロータリークラブ

第 2497 例会 2012.6.27

—— ロータリー親睦活動月間 ——

天 候 晴 (NO.48-52)

会 長 吉 島 一 良 幹 事 間 邊 元 幸

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当 番 雨間君、馬場君

例会場: マロウドイン 飯能 〒357-0021 飯能市双柳105-8
☎(042)974-4000

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町 1-7
☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662
http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点 鐘 吉島会長
- ・ソング 手に手つないで
- ・米山記念奨学生 リュウ・ユウヒさん

会長より奨学金授与およびリュウさん挨拶
駿河台大学大学院心理学研究科法心理学専攻。奨学金を頂いてからアルバイトも辞め学業に専念。先月、犯罪心理学の先生と府中刑務所八王子を見学。中国の刑務所には行った事がなく比較出来ないが、驚く程きれいだった。刑務所とは罪を償う事よりも更生を目的に設けられた場所。受刑者は意外に快適に暮らす事が出来ると思う。犯した罪を反省し、立ち直って社会復帰する、理想的な場所だと思ふ。

【会長報告】

昨日、日高の最後の例会に出席。4月まで「+」だったが「-」になってしまったようです。18時半からはヘリテイジで50周年選考委員会。皆で楽しく、飯能流でやって行く事を決めました。安藤エレクト、次年度よろしくお願ひ致します。駿河台大学からは昨年、米山に3名が応募。前年からシュウさんが採用、最後の選考に2名残り、立原ガバナーには「是非、飯能で」と強く要望。「お前の言う事なら何でも聞かよ」と、あいまいな返事でしたが、私の1つの目的だった奨学生受け入れが無事実現出来た。50周年の時も受け入れ出来ればと思っています。

【幹事報告】

- ・7月ロータリーレート 1\$ = 80円
- ・反省会を兼ねた懇親会、出欠席は7/4まで。

【委員会報告】

50周年記念実行委員会 中里(昌)君
実行委員長を仰せつかり、早速、準備委員会。記念事業の役員は顧問:橋本会員、副実行委員長:石井、矢島(巖)吉島会員に決定。「50周年は今までの周年事業とは違う」等、プレッシャーも掛けられ、他所のクラブに負けない周年事業を行いたい。総員参加、役割分担等、お願いしたい。

【出席報告】無断欠席なし 増島出席委員長

会 員 数	当 日	前々回修正		
全 数 対 象	出席数	出席率	出 席 率	
54名	6名	47名	87.04%	92.59%

お蔭をもちまして「無断欠席0」で1年経過。事務局・西川さん、西脇さんのお蔭で「出席報告」も無事終える事が出来ました。

【M U】

6/26(日高)吉島君、間邊君

【S A A 報告】

ニコニコBOX

- ・一年間、吉島会長、間邊幹事、吉田副会長、土屋 SAA 始め、皆様ご苦労様でした。安藤君、山川君
- ・本日をもって年度末の最終例会となりました。一年間お世話様でした。

吉島君、吉田(武)君、間邊君、土屋(崇)君
・川口さん、旅行の写真を沢山有難うございました。大木君
・吉島年度の最終例会、欠席で申し訳ありません。神田(敬)君
・早退 半田君、大野君
本日計 10,000円、累計額 1,164,625円。
4日例会当番は藤原会員、細田(伴)会員です。

= クラブ協議会 =

司会 吉島会長

安藤泰雄会長エレクト報告

エレクトの立場は1年間勉強する時期。吉島会長始め皆様の下、「諸先輩はこういうふうを考え、こうやるのだ」との思いで様々な活動に参加させて頂いた。一方、昨年秋頃から予定者としての活動も開始。ロータリーの友情、魅力を色々な場面で感じながら、思い出多い1年を過ごせた。引き続き温かいご指導をお願いしたい。

土屋良一社会奉仕委員長報告

北田委員退会后、森委員と担当。東日本大震災の被災者支援を掲げ、9/14行田RC前年度災害支援委員長と前年度会長から石巻市での瓦礫撤去等の活動について中身のある感動的な卓話を伺った。プログラム委員会でも関連の卓話「私の大震災と法」(山田氏、服部会員) 12/18被災者を第九演奏会へ招待。当初より、震災への関心が薄く瓦礫処理や子どもの入園を断ったり修学旅行が減ったりと差別感情が出ている気がする。何らかの形で支援は継続していかなければならないと思う。

小崎裕之環境保全委員長報告

柏木正之委員長と担当。「森林文化都市」の存在感を高めるため、環境・景観・自然の保全にRCとして如何に貢献していくか、を中心に推進。「落ちていくゴミが自然と片付く」市民意識の向上、啓蒙を心掛けた。1)はんのう市民環境会議に積極参加 木川会長、H15年設立。8年前に飯能RCも入会。飯能の茶、米も放射能汚染の影響下にあり底知れない恐ろしさを痛感。2) 柏木委員長卓話「環境としての山林問題」3) 飯能新緑ソーデーマーチ参加。環境緑水課にゴミ袋寄贈(継続的事業)

前島宏之新世代委員長報告

藤原委員と活動。9/4東松山・国立女性教育会館、新世代部門セミナー参加。9/7野口地区委員長(東松山むさし)卓話。12/4東松山・紫雲閣、ライラダーに会長幹事と参加。「日本に来て感じたこと」をテーマに奨学生5人が講演。個人としては2/19狭山・東武サロン、IMIに参加。社会奉仕活動のプレゼンテーションを行う。他所はパワーポイントだったが、当クラブは和泉会員(飯能日高テレビ)の絶大なご協力によりDVDで発表。画期的と大変好評を頂いた。

中里昌平国際奉仕委員長報告

山岸委員と担当。定着した支援は駿河台大学留学生に対するもの。12月、留学生スピーチコンテストに審査員として出席。2月、例会で入賞者3名のスピーチ。短時間での語学力、日本の文化・習慣への洞察力にはいつも感心させられる。国際大会参加は2年流れ、今年のバンコクは水害。行けなかった欧州にと、先日の山岸委員の報告通り、イタリアへ。世界一の毛織物の産地・プラトーのMUでは大変な歓迎を受け、国際組織であるRCの友情、友好の証しを改めて感じた。国際大会に限らず、海外でのMUを体験すると、RCバッジ1つで歓迎されるというのは他には無い団体ではないか。海外MUを体験する事で国際交流、知識を身につけて行きたい。

高橋弘会員増強委員長報告

細田(伴)、和泉、神田敬委員と構成。当初、社会奉仕に参加出来る幸せに思いを致せば純増1は容易と考えたが、震災による経済的ダメージが結構あった。それでも2名から入会の承諾を個人的には頂いたが、波風が立つような選考は避ける方針だったため、2名とも競合する事が分かり、今回は選考委員会への申し送りを控えた。流れとしては非常に良い。次年度、純増2を期待。

細田吉春会員選考委員会報告

森、橋本委員と、高齢者が張り切って3人で頑張ろうと始めたが、大変ハードな委員会で森委員が途中で亡くなってしまった。増強に協力するよう頑張ったが、森

健二会員に入って頂いたという事。慎重に審査させて頂いた。東日本大震災、景気が悪いという事で大変だったと思う。来年私は増強。一生懸命増やして行きたい。

山川莊太郎職業分類委員長報告

齋藤委員と担当。最初のクラブ協議会で誰でも入れるロータリー」と言ったところ、細田吉委員長から「厳しい審査をするから」とお叱りを受けた。51名以上の場合、「同一職業分類に属する正会員がクラブ正会員の10%より多くならない限り」選出出来るという規定。その点でも、増強・選考委員会と協力しながら1年間過ごさせて頂いた。優秀な方が入会されて良かったと思う。

小久保勝弘会報・広報委員長報告

小川、杉田委員と担当。例会毎に写真を撮れば良いのかなと思っていたがそうでもなかった。会報については読み易い紙面作りをし、毎回送られる校正用FAXに目を通して正確な記録を伝えるよう努めた。今まで無かったという「校正委員会」を年2回程してみた。3人で仲良くお酒を頂きながら和気藹々過ごさせて頂いた。広報は、メンバーの文化新聞社、飯能日高テレビのお蔭で、公式訪問、市長の新年卓話等、報道して頂く。広報セミナーは、7月・女性教育会館、1月・紫雲閣に会長と参加。担当例会は7/11野口勲氏「タネが危ない」の卓話。

雨間保弘雑誌委員長報告

基本計画 1)『ロータリーの友』紹介、2)雑誌月間の卓話、3)公共機関への『友』寄贈」を、毎月、役割分担し、川口、丸山委員と3人で言う事が出来た。『友』等への投稿は多くの人にご協力頂き、結果、『友』8月号「手渡しのお見舞金(半田直前会長)和泉会員記、12月号「私の家族」加藤会員記『ガバナー月信』川柳、大崎、前島会員、私『友』4月号、駿河台大学「日本語スピーチコンテスト」市川(洋)会員記、5月号、飯能の2代目ガバナー、6月号「この人、この仕事」に中里昌会員が紹介された。川口委員の投稿「飯能新緑ソーデーマーチ」は現在審査中。皆様の協力に感謝、御礼申し上げます。

神田康夫ロータリー財団委員長報告

加藤委員と担当。財団の合言葉は「世界で良いことをしよう」。飯能クラブで良いことをした2人の代表：新井会員よりマルチプル・ポールハリス・フェロー、平沼会員よりベネファクター、1000\$ずつご寄付頂く。クラブ寄付合計は10250\$(内訳：年次寄付6500\$、使途指定寄付1650\$、恒久寄付2100\$)。大附R情報委員長の協力で、例会で財団の勉強会を開催。財団の地区行事等に参加。ご協力に心から感謝申し上げます。

吉田健米山記念奨学委員長報告

去年から「記念」が入った。大河原委員と担当。地区からの要請で1人170円上乘せ、年間2万円を協力。奨学生1名、会長より花を添えて頂いた。昨年は大震災等で厳しい年だったが、米山記念奨学は日本だけで独自にやっている非常に誇らしい委員会だと思う。1年間、希望通りの満額をやれた。ご協力有難うございました。

バッジの交換(拍手)



次週の例会案内は省略。